

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)5月2日
所属名：大津・南部農産普及課
番号：A23004
部門分類：150 野菜
発信者名：木村

近江舞子いちご園が開園

近江舞子いちご園は、1983年(昭和58年)に南小松生活改善グループを母体として活動を開始した観光いちご園で、来年度40年目を迎えます。地域の人材を活用して春のイチゴ狩りと秋のサツマイモ掘り・落花生掘りを主力に運営され、令和5年度はイチゴ40a・サツマイモ20a・落花生20aを予定しています。平成16年度からはイチゴ(露地)で滋賀県環境こだわり農産物の認証を受けています。

新型コロナウイルス感染症蔓延のため訪問者は激減していましたが、保育園等の団体利用を中心に約3000人まで回復しています。

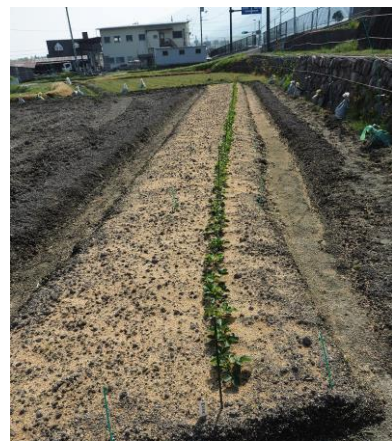
近江舞子いちご園では、イチゴの露地栽培で古くからの品種である宝交早生(ほうこうわせ)を使用することにこだわっていますが、土壌伝染性病害である萎黄病が発生し、栽培株を利用した栽培床における自家育苗が出来なくなっていました。そこで、当課は令和5年度から育苗用に別のほ場を確保し自家育苗が継続できるよう支援しています。

また、シカによる食害が発生していました。当課はトレイルカメラと現地調査でシカの行動を把握した上で、電気柵の設置方法を見直して被害を防止するよう指導しています。

県内でも珍しい宝交早生のいちご園が5月1日から開園されています。



開花期を迎えた近江舞子いちご園



自家育苗中の宝交早生